



社団法人 日本オリエント学会

第6回「オリエント世界」作文コンクール

日本オリエント学会は文明発祥の地であるオリエント地域の歴史や文化を研究する日本を代表する学会です。次代を担う若い方々にオリエント世界への関心を高めていただくため、下記の要領で作文コンクールを行います。先生方におかれましては、生徒の皆さんがふるって応募してくださるよう、よろしくご指導をお願い申し上げます。

募集する作文の対象は、古代文明の時代から現代に至るまでの「オリエント世界」とします。選考委員によって入選作品を決定します。入選者には賞状と副賞が贈られ、入選者が所属する中学校・高等学校には学校賞として日本オリエント学会編『古代オリエント事典』（岩波書店、2004年刊行）を寄贈します。特にすぐれた作文には特別賞を贈呈します。

詳細につきましては日本オリエント学会のホームページ (<http://www.j-orient.com>) をご覧ください。選考結果は同ホームページで12月中旬に発表します。

選考委員

小林春夫(イスラーム思想史 東京学芸大学)、近藤二郎(古代エジプト研究 早稲田大学)
月本昭男(古代イスラエル宗教史 立教大学)、西秋良宏(西アジア考古学 東京大学)
深見奈緒子(イスラーム建築史 早稲田大学)、堀川徹(西南アジア史 京都外国語大学)

募集要項

- ◆応募資格は、中学校または高等学校の生徒です。
- ◆内容がオリエント世界（古代から現代まで）に関するものであれば、自由作文、読書感想文、論文など、様式は問いません。
- ◆字数は原則として2000字以内（原稿用紙ならば400字詰5枚以内）とします。鉛筆を使用する場合は、BまたはHBを使用してください。
- ◆締切は2012年9月30日（必着）です。
- ◆応募は郵送に限ります。郵送の際に、下記の事項を記入した別紙を同封して下さい。
 - ・ 作文題名
 - ・ 応募者氏名、学年、住所、電話番号もしくはe-mailアドレス
 - ・ 所属学校名、所在地、電話番号もしくはe-mailアドレス
- ◆封筒の表に「作文コンクール」と朱書きして下さい。
- ◆宛先・問合せ先：
社団法人 日本オリエント学会
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-9 東京天理教館9階
電話：03-3291-7519 e-mail：office@j-orient.com
<http://www.j-orient.com/>
- ◆なお、応募原稿は返却しません。



社団法人 日本オリエント学会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-9

東京天理教館9階

電話：03-3291-7519 e-mail：office@j-orient.com

参考図書について

この作文コンクールは、地域的・時間的に大きな広がりを持つ「オリент世界」を対象とするものです。地域では中央にイラク(メソポタミア)を置いて、西は北アフリカ(エジプトを含む)から、北はアナトリア、南はアラビア半島、東はイランまでを覆い、時間的には、紀元前 4 千年紀から、イスラームが起こる紀元後7世紀以降、現代までを含みます。このように時間的にも空間的にも広大であることに加えて、「オリент世界」の歴史に登場する民族や文化も多様です。そこにオリент世界を学ぶ楽しさがあるにしても、すべてを網羅した参考図書を挙げることは困難と言わざるをえません。したがってここでは、現在市販され、比較的廉価で、入手しやすい書籍を中心に示すことにしました。さらに深く学びたい方は、これらの本から始め、それぞれの本の末尾に収録されている参考文献表から本を選び、読むという、いわゆる「芋づる式」のやり方で関連書籍を集めることが、遠回りのようでいて、実は「王道」を行く方法です。

古代オリент全般

- ・小川英雄・山本由美子『世界の歴史4—オリент世界の発展』中央公論社、1997年(2650円)
- ・前川和也・屋形禎亮他『世界の歴史1—人類の起原と古代オリент』中央公論社、1998年(2650円)

古代エジプト

- ・内田杉彦『古代エジプト入門』岩波ジュニア新書、2007年(819円)
- ・近藤二郎『ヒエログリフを愉しむ—古代エジプト聖刻文字の世界』集英社新書、2004年(756円)
- ・近藤二郎『ものの始まり50話—文明の源をさぐる』岩波ジュニア新書、1992年(819円)
- ・高宮いづみ『古代エジプトを発掘する』岩波新書、1999年(777円)
- ・ジョイス・ファイラー(内田杉彦訳)『病と風土—古代の慢性病・疫病と日常生活』学藝書林、1999年(2200円)
- ・村治笙子『古代エジプト人の世界—壁画とヒエログリフを読む』岩波新書(カラー版)、2004年(1050円)
- ・吉成薫『エジプト王国三千年—興亡とその精神』講談社選書メチエ、2000年(1785円)
- ・吉村作治『ピラミッドの謎』岩波ジュニア新書、2006年(882円)

古代メソポタミア

- ・岡田明子・小林登志子『古代メソポタミアの神々—世界最古の「王と神の饗宴」』集英社、2000年(2940円)
- ・S.ダリー(大津忠彦・下釜和也訳)『バビロニア都市民の生活』世界の考古学23、同成社、2010年(2800円)
- ・月本昭男『ギルガメシュ叙事詩』岩波書店、1996年(4200円)
- ・中田一郎『メソポタミア文明入門』岩波ジュニア新書、2007年(777円)
- ・中田一郎『ハンムラビ「法典」』リトン、1999年(3150円)
- ・デニス・シュマント・ベッセラ(小口好昭・中田一郎訳)『文字はこうして生まれた』岩波書店、2008年(4725円)
- ・ジャン・ポテロ(松島英子訳)『メソポタミア』法政大学出版局、1998年(5040円)
- ・前田徹『メソポタミアの王・神—世界観—シュメール人の王権観』山川出版社、2003年(2940円)

古代オリントのその他の文献

- ・大村幸弘『鉄を生みだした帝国—ヒッタイト発掘』日本放送出版協会、1981年(914円)
- ・ドミニク・コロ(池田潤訳)『オリントの印章』学藝書林、1998年(1890円)
- ・薮勇造『シェバの女王』山川出版社、2006年(1365円)
- ・山本由美子『マニ教とゾロアスター教』山川出版社、1998年(765円)

イスラームの文献

- ・赤堀雅幸(編)『民衆のイスラーム—スーフィー・聖者・精霊の世界』山川出版社、2008年(1890円)
- ・飯塚正人『現代イスラーム思想の源流』(世界史リブレット69)、山川出版社、2008年
- ・井筒俊彦『イスラーム文化—その根底にあるもの』岩波文庫、1991年(630円)
- ・伊東俊太郎『12世紀ルネサンス』講談社学術文庫、2006年(1050円)
- ・イブン・ハルドゥーン(森本公誠訳)『歴史序説』全4巻 岩波文庫、2001年(945+945+903+945円)
- ・ガザリー(中村廣治郎訳)『誤りから救うもの』ちくま学芸文庫、2003年(997円)
- ・小杉泰『イスラームとは何か—その宗教・社会・文化』講談社現代新書、1994年(798円)
- ・後藤明『ビジュアル版イスラーム歴史物語』講談社、2001年(2940円)
- ・『コーラン』(井筒俊彦訳)全3冊 岩波文庫、1964年(798+798+840円)
- ・佐藤次高『イスラーム—知の営み』(イスラームを知る1)、山川出版社、2009年
- ・塩尻和子・池田美佐子『イスラームの生活を知る事典』東京堂出版、2004年(2625円)
- ・清水芳見『イスラームを知ろう』岩波ジュニア新書、2003年(819円)
- ・湯川武『イスラーム社会の知の伝達』(世界史リブレット102)、山川出版社、2009年
- ・深見奈緒子ほか『イスラーム建築がおもしろい』彰国社、2009年(2415円)
- ・樹屋友子『すぐわかるイスラームの美術—建築・写本芸術・工芸』東京美術、2009年(2100円)